

東京大学グローバルリーダー育成プログラム推進室

奨学金付き海外サマープログラム（2015年派遣）

ピースボート地球大学 特別プログラム

「アジア共通の『人間の安全保障』は可能か」募集要項

2015年4月6日

1. 概要・趣旨

東京大学グローバルリーダー育成プログラム（GLP）推進室では、2015年8月21日～9月9日に開催されるサマープログラム、ピースボート地球大学 特別プログラム「アジア共通の『人間の安全保障』は可能か」に参加する学生を募集します。

募集の対象は、学部学生及び大学院学生です。若干名の採択を予定しています。高水準の英語能力（TOEFL iBT100点、IELTS7.0相当以上）、留学に対する強い意志などを参加の要件とします。学内選考があり、これらの要件を書面及び面接（使用言語：英語）により総合的に判断します。多数の企業から賛同を得ており、協賛企業の基金により、奨学金を受けることができます。

2. 応募の流れ・スケジュール

時期	学生のアクションなど
4月上旬	募集要項の確認等 <ul style="list-style-type: none">・ 募集要項の確認・ 申請に間に合うよう、英語能力試験（TOEFL iBT 又は IELTS）の申し込み（既に取得している場合も、有効期限が切れていないか確認）
4月 ～5月上旬	申請に向けた準備 <ul style="list-style-type: none">・ 所属する学部・大学院の授業スケジュールや個人の予定等の確認・ 募集要項を精読し、応募書類の準備
5月15日（金） （締切日）	応募書類の提出 書類提出先：グローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）
5月中旬 ～下旬	学内選考 <ul style="list-style-type: none">・ 面接該当者には、5/19（火）までに連絡・ 面接日は、原則として5/20（水）～5/25（月）のうち本部が指定する日
6月上旬頃	選考結果通知 <ul style="list-style-type: none">・ 奨学金の権利を得たことになる
6月以降	・ プログラム参加の準備
6月頃	派遣前オリエンテーション
プログラム 終了後	・ 「ピースボート地球大学」への参加を証明する書類、報告書等を提出 ・ 協賛企業との懇談会等への出席

3. 資格・条件

以下の資格・条件をすべて満たす必要があります。

- (1) 申請時及び留学期間を通じて、本学の学部又は大学院の正規課程に在籍する者
- (2) 本学の授業・試験日程、その他各自の予定等を申請前に十分確認した上で、参加が可

能な者（下記4. 参照）

- (3) 参加プログラムに必要な英語能力（TOEFL iBT100点、IELTS7.0相当以上）を有する者
なお、若干下回る程度であれば応募を受け付け、書面や面接審査等により総合的に判断します。

TOEFL iBT 又は IELTS（アカデミック・モジュール）の提出が必須（TOEIC や英検は不可）ですので、早めに準備を進めてください。

- (4) 各種提出書類の準備や締切日の確認等を自ら主体的に行える者
(5) 資金提供者との懇談会への出席、報告書の提出、アンケート調査への協力等の依頼があった場合に協力ができる者
※ 東京大学として推薦できる人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の留学の機会を失うことにつながるため、原則として申請後に辞退することのないよう注意してください。

4. 授業・試験日程等の確認

- (1) 本学の授業等に出席できない場合の扱いについては、留学時の所属学部等の判断によります。当該プログラムへの参加に際し、特別な配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請してください。

※ 教養学部前期課程に関しては、本募集要項プログラムの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなる。また、欠席による追試験の申請理由にもならないが、詳細は教養学部教務課に確認すること。

- (2) 留学時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けてください。該当する教員等がない学生は、留学時に所属する予定の学部・大学院の担当部署にその旨報告・相談してください。
(3) 留学時に所属する予定の学部・大学院の担当部署で、申請前に留学に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名をもらい、納得した上で申請してください。

5. 費用・奨学金

- (1) 学内選考を経て参加が許可された場合、G L P 協賛企業からの基金により、宿泊費・渡航費の一部として奨学金 190,000 円が支給されます。なお、奨学金を受給するには所定の条件を満たす必要があり、受給できない場合もあります。
(2) 奨学金を超える部分の宿泊費・航空賃・教材費・ビザ取得費用・保険料等、参加に要する経費は自己負担となります。
(3) 奨学金の支給は、プログラム終了後となります。参加費等を一旦全額各自で支払う必要があるため、家族に相談する等の準備を進めてください。
(4) 他団体等から奨学金を受け、当該奨学金支給団体側において奨学金の併給を認めない場合は、奨学金を受給できないので注意してください。
(5) 国費外国人留学生については、本奨学金は授業料・宿泊費・航空賃の一部として用途を特定して支給するため、プログラム・期間によっては本奨学金を支給可能な場合がありますが、国費外国人留学生制度の定めにより支給できない場合もあります。詳細は所属学部・大学院の担当部署に確認してください。

6. 応募方法

- (1) 募集要項を精読し、下記の応募書類一式を応募締切日（5/15 必着）までに、グローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）へ郵送で提出してください。（直接ご持参いただいても構いません。）

応募書類	電子データ	紙媒体
①学内申請書（プレ GEfIL プロジェクト指定様式）	○	○
②成績評価係数計算表	○	-
③申請者情報シート	○	-
④大学入学後全学期の成績証明書（英文）の写し	-	○
⑤奨学金受給希望状況確認書	-	○
⑥英語能力を証明する書類	-	○

【提出先】

○住所

〒113-8654

東京都文京区本郷 7-3-1 第二本部棟 1階

東京大学グローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）

○メールアドレス

glp-gefil@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

<注意事項>

- ・ 様式は下記のウェブサイトからダウンロードしてください。
<http://www.glp.u-tokyo.ac.jp/gefil/id=32>
- ・ 紙媒体で提出する書類は、全てA4判・片面印刷で提出してください。
- ・ 上記は学内選考のための応募書類です。学内選考の結果、派遣候補学生に内定した場合は、プログラムの求めに応じて応募書類を改めて作成・提出する必要があります。

（「①学内申請書（所定様式）」について）

- ・ 基本情報・留学を希望する理由などを記載してください。
- ・ 署名が必要な欄には必ず署名を入手してください。

（「④大学入学後全学期の成績証明書（英文）の写し」について）

- ・ 成績評価の基準（何段階評価かなど）が説明されている部分も含めて提出してください。
- ・ 国内外を問わず、他大学に在籍していた経験がある者はその大学の成績証明書を入手し、A4判に揃えて提出してください。
- ・

（「⑥英語能力を証明する書類」について）

- ・ 英語能力検定試験（TOEFL iBT 又は IELTS）のスコアは2015年5月時点で有効期限内（受験日から2年以内）のものとし、受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とします。
- ・ 英語能力の要件については、前述3.（3）を確認してください。
- ・ 締切日までにスコアの写しを提出できない場合、5月25日（月）までにグローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）にスコアの写しを提出することを認めます。スコアの写しの差替えを希望する場合も同様とします。
- ・ 英語で一定年数の教育を受けている者など、以下の条件に該当する学生は、学内選考では英語スコアの提出は不要とします。その旨申請書の「英語能力」欄に記載してく

ださい。該当するかどうか疑義がある場合には、グローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）に確認してください。

条件： Students who have received an English-medium education for at least 5 years of the first 6 years of education and at least 5 years of the next 6 years of education are exempt from submitting English proficiency test scores.

7. 学内選考

- (1) 書面審査及び面接審査によりグローバルリーダー育成プログラム推進室で学内選考を行い、派遣候補学生を内定します。なお、応募者多数の場合は学部学生を優先します。
- (2) 書類審査により候補学生として認められた学生について、面接審査を実施します。面接該当者には、5/19（火）までに電子メールで連絡します（面接に該当しなかった者には、連絡しません）。面接は、原則として5/20（水）～5/25（月）の間で行います。グローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）が候補日を指定（必要に応じて個別に調整）して実施しますので、この間は可能な限り空けておくようお願いします。
- (3) 書類に不備がある場合の連絡や、面接日程、可否等の連絡は電子メールで行うため、応募後は定期的に電子メールを確認するようにしてください（重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、迷惑メールフォルダも確認してください）。
- (4) 選考結果は、6月上旬頃、電子メールで学生本人及び所属学部・大学院の担当部署に通知します。
- (5) より多くの学生に海外体験の機会を提供するため、過去に本学の奨学金付き夏季短期留学プログラムへの参加経験がある学生が当該プログラムに再度申請する場合は、学内選考の際に優先順位が低くなる場合があります。
- (6) 派遣候補学生として内定する前に、やむを得ない事情で申請を取り下げる場合には、早急にグローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）に連絡してください。

8. 学内選考通過からプログラム参加決定後の留意事項

【プログラム参加手続き及び渡航手続き】

- (1) 学内選考の結果、派遣候補学生に内定した場合は、GLP推進室事務局が派遣候補学生の名前と電子メールのアドレスをピースボート東京事務局にお知らせしますが、派遣候補学生自身も、ピースボートが定める応募書類を改めて作成し応募を行うこととなります。ピースボートの応募書類は、以下のウェブサイトからダウンロードすることができます。
<http://www.peaceboat.org/english/?page=view&nr=149&type=21&menu=62>
※派遣候補学生であることを示すために、応募書類の上部に“UTokyo Pre-GEFIL Project 2015 Student”と書き加えてください。

- (2) 査証（ビザ）取得手続きは、ピースボート事務局が代理で行います。その際に必要となる書類その他の情報は、責任を持ってピースボート事務局に提供するようにしてください。また、ムンバイから東京への帰りの旅程の詳細については、後ほど電子メールにてお知らせします。なお、これらに要する費用も本人の負担となります。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任とし、奨学金は支給しません。

【学内での手続き】

- (3) 派遣候補学生に内定した場合は、各自でのプログラムへの応募等が完了した後、海外

留学等先の受入許可証等又は受入見込みを示す書類等（連絡状況等）、受入れ期間が日付まで明記されたものの写しをグローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）へ提出してください。

- (4) 所属学部・研究科の担当部署に確認し、必要な場合は「留学」等の海外渡航に必要な手続きを行ってください。（必要な手続きは、所属学部・研究科毎に異なります。）
- (5) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者に迷惑をかけないように努めてください。
- (6) 6月頃に、派遣学生へのオリエンテーションを開催します。やむを得ない事情がない限り必ず参加してください。
- (7) 学内選考を通過した場合でも、当該プログラムへの参加が認められなかった場合や、手続き不備により参加できなくなった場合等は、奨学金を支給しません。
- (8) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合（プログラム側から受入許可が得られなかった場合を含む）は、グローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）に連絡するとともに、辞退理由書（任意様式、A4 1枚）を提出してください。
- (9) 奨学金受給者が、前述の申請資格に反する事実が判明した場合、又は受給者として適当でない事実があったときは、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させます。また、留学を中断・休止した場合も、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させます。
- (10) その他、東京大学が指示する注意事項に従ってください。

【保険への加入】

- (11) 学内選考通過後、プログラムへの参加が決定した場合、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入していただきます。本公募を通じてのプログラムへの参加には、「付帯海学」への加入を必須条件とします（加入に要する経費は自己負担となります。）。なお、加入に当たっての詳細は、プログラム参加決定学生に追って通知します。

日本国際教育支援協会ウェブサイト：<http://www.jees.or.jp/gakkensai/daigaku.htm>

【留学のための情報や危機管理等】

- (12) 一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照してください（<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>）。特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読してください。また、留学プログラムの前後に私事用務等で渡航期間を延長する場合、「付帯海学」に加え、私事用務期間全てをカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航してください。

9. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めてください。
- (2) 参加学生は東京大学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守してください。

10. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から2週間以内（必着）に報告書（所定様式）、参加プログラムの修了証書等のコピーをグローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）に提出してください。
- (2) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加、協賛企業との懇談会等への出席を求めます。このほか、留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等を依頼する場合があります。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力してください。

11. その他

- (1) 応募時の申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、グローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）に連絡してください。
- (2) 関係ウェブサイト
グローバルリーダー育成プログラム（GLP）ウェブサイト：
<http://www.glp.u-tokyo.ac.jp/gefil/id=32>

12. 問い合わせ先

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記してください。

- (1) 奨学金に関すること、プログラムに関すること：
グローバルリーダー育成プログラム推進室事務局（本部学務課教育改革推進チーム）
glp-gefil@ml.adm.u-tokyo.ac.jp
- (2) 本学での学務関係の事項：留学時の所属学部・研究科の担当部署
各学部・研究科の担当部署一覧：
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/inquiry.html>
- (3) プログラムの内容の詳細等：
○ピースボート地球大学「特別プログラム」ウェブサイト
<http://www.peaceboat.org/topics/archives/224>
○企画概要
http://www.peaceboat.org/files/uploads/univ_88_GU_Special_20141216_JPN.pdf